

株式会社アドバンテスト
**2008年度業績予想と
構造改革について**

2009年2月25日

代表取締役 兼 執行役員社長
丸山 利雄

プレゼンテーション：

代表取締役 兼 執行役員社長 丸山 利雄

1. 2008年度業績予想

2. 構造改革について

2008年度業績予想

ADVANTEST.

(単位：億円)

	2007年度実績	2008年度予想	前期比(%)
売上高	1,828	750	-59.0
営業利益	227	-500	—
営業外収支	8	-40	—
税引前純利益	235	-540	—
当期純利益	166	-780	—

3

All Rights Reserved - Advantest Corporation

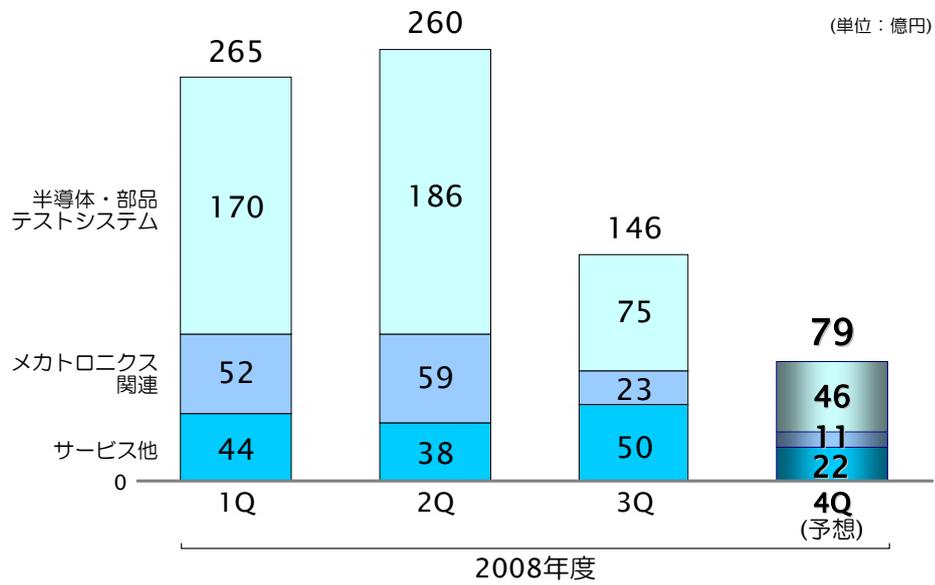
2009/2/25

○ 2008年度業績予想（構造改革の費用含む）

- ・ 売上高： 750億円 前期比 -59%
- ・ 営業利益： -500億円
- ・ 営業外収支： -40億円
- ・ 税引前純利益： -540億円
- ・ 当期純利益： -780億円

売上高の推移 四半期別

ADVANTEST



※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれております。

All Rights Reserved - Advantest Corporation

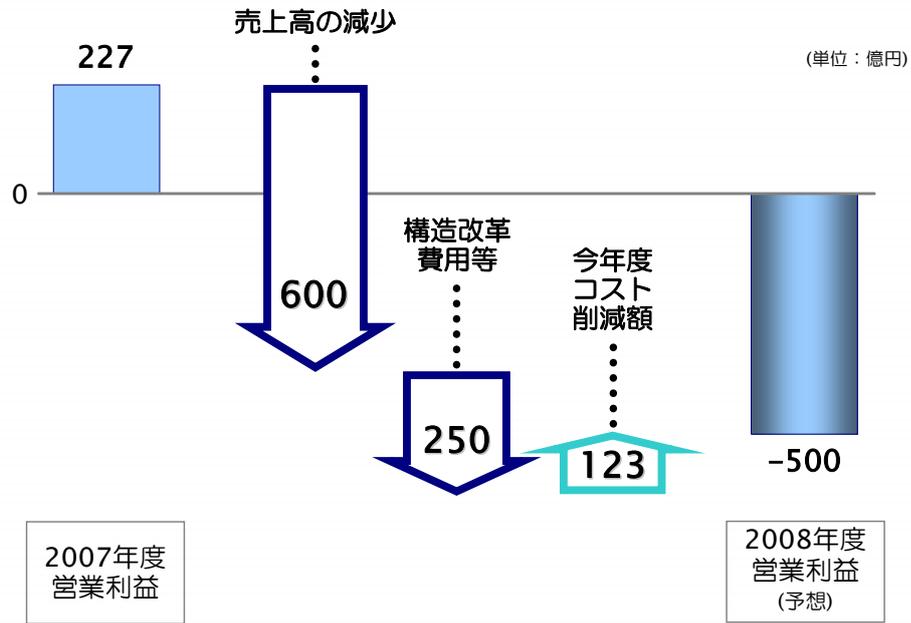
2009/2/25

○ 売上高の四半期推移

- ・ 第4四半期は、
第3四半期に対して、さらに悪化する見通し

営業利益の変動要因

ADVANTEST.



5

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2009/2/25

○ 2008年度の営業利益予想

—500億円

・ 変動要因

・ 売上高の減少による

600億円

・ 構造改革費用等

250億円

構造改革の内容については、10～14ページを参照

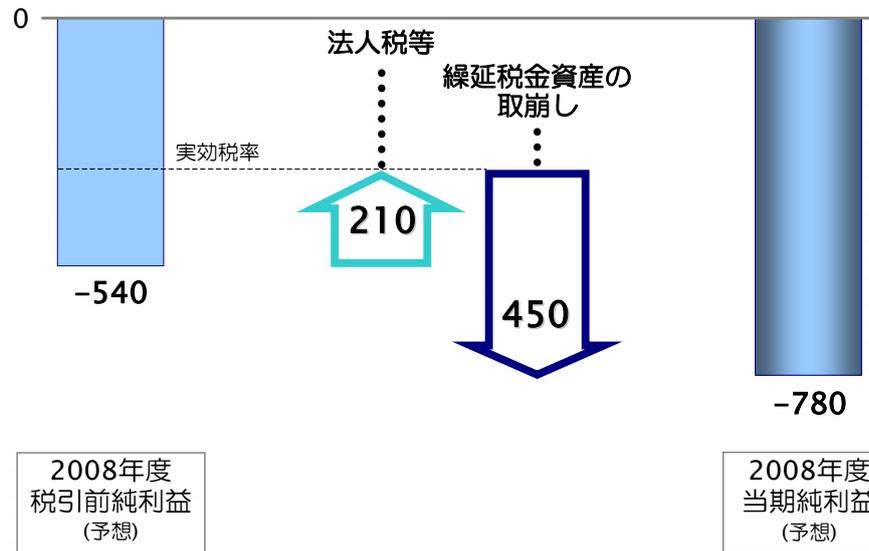
・ 今年度のコスト削減額

123億円

当期純利益

ADVANTEST.

(単位：億円)



6

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2009/2/25

○ 2008年度の当期純利益予想

－780億円

・ 主な要因

- ・ 法人税等 +210億円
- ・ 繰延税金資産の取崩し -450億円

2008年度の配当予想

ADVANTEST.

	中間期	期末	年間
2007年度実績	25円	25円	50円
2008年度予想	25円	5円	30円
前年度比			-20円

7

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2009/2/25

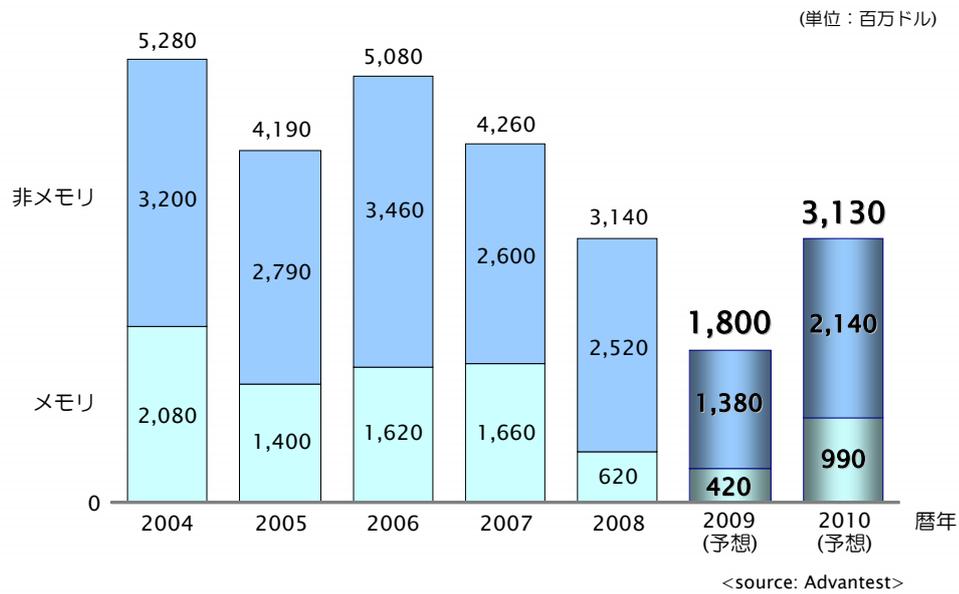
○ 2008年度の配当予想

- ・ 今期の期末配当予想を、
2008年10月30日発表の25円から、
今回5円に修正
- ・ 2008年度年間配当は30円となり、
前年度比で、20円の減配を予想

1. 2008年度業績予想

2. 構造改革について

テスト市場の推移と今後の見通し **ADVANTEST.**



9

All Rights Reserved - Advantest Corporation

2009/2/25

○ 今回の構造改革を実施する背景について

- ・ 2009年度を見通すと、
2008年度以上に低迷することが見込まれ、
2010年度に入っても、
急回復することは難しい状況と判断
- ・ このため、構造改革を実施することとした

◇ 人員の適正化

◇ 人件費の抑制

◇ 事業の選択と集中

○ 構造改革の主な具体策

- ・ 人員の適正化
- ・ 人件費の抑制
- ・ 事業の選択と集中

3,400名体制へ (2009年3月末を目標)

◇ 臨時従業員の適正化 (2008年11月から実施)

◇ 希望退職者の募集 (2009年2月)



2008年度で約1,200名削減

○ 「人員の適正化」について

- ・ 2009年3月末を目標に全社3,400名体制へ
 - ・ 主な取組み
 - ・ 臨時従業員の契約更改の見送り
(2008年11月より実施中)
 - ・ 正規従業員を対象に
早期希望退職者募集の実施
(2009年2月)
- ・ 2008年度で総人員を約1,200名削減

◇ 役員

- ・ 報酬を大幅に減額
- ・ 賞与不支給

◇ 管理職

- ・ 賃金を5～20%減額
- ・ 賞与不支給

○ 「人件費の抑制」について

- ・ 役員
報酬50～60%削減
賞与は支給しない
- ・ 管理職
賃金5～20%削減
賞与は支給しない

① 既存事業のスリム化、新規事業立ち上げ

- ・ 不採算製品の撤退による事業固定費削減の徹底
- ・ 新規事業へ経営資源の一部をシフト
 - 1) 新企画商品開発室のスタート
 - 2) 新規事業の開拓

② 生産／開発プロセスの更なる効率化

- ・ 製造子会社4社統合
- ・ ソフトウェア開発子会社4社統合

③ インフラ整備等による固定費削減の徹底

- ・ 事業拠点および保有施設の統廃合
- ・ 経費削減の徹底

○ 「事業の選択と集中」について

① 事業のスリム化、新規事業立ち上げ

- ◇ 不採算製品からの撤退による事業固定費の削減
- ◇ 新規事業へ経営資源の一部をシフト
 - ・ 新企画商品開発室のスタート
 - ・ 新規事業の開拓

② 生産／開発プロセスの更なる効率化

- ◇ 連結子会社の統合
 - ・ 製造4社、ソフトウェア開発4社をそれぞれ統合

③ インフラ整備によるコスト削減の徹底

- ◇ 事業拠点および保有施設の統廃合
- ◇ 不要不急コストの徹底的見直し

2008年度第4四半期に発生する
構造改革費用：

250億円

構造改革等による
2009年度の効果予測額：

250億円

ご注意

- ◆ 当社は米国会計基準を採用しております。
- ◆ 将来の見通しに関する記述について
本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。